

教育産業建設常任委員会 行政視察報告

日 時：令和5年10月26日～28日

視察先：東京都港区 空き家活用株式会社

：栃木県鹿沼市議会

視察者：笠原吉範 水木壽保 腰山良悦 見上政子 須藤正人 山本優人

木育推進と市民(子ども)にもたらした変化

栃木県.鹿沼市

鹿沼市議会議長

谷中恵子

木のまち推進係長

橋本

林政課係

豊田



「木工のまち鹿沼」として林業・木材産業が盛んである所以は、日光東照宮造営の際に各地から腕利きの宮大工や職人が逗留・永住して技術が伝承されてきたことによる。

人口 91,788人

面積 460,64km²



発表者 見上正子

栃木県鹿沼市

鹿沼市の森林と林業

- 総面積 49,064ha
- 森林面積 33,753ha
⇒森林の割合 **約7割**
- 私有林面積 32,081ha
- 人工林面積 24,517ha
⇒人工林の割合 **約8割**
⇒栃木県内屈指の林業地帯

出典：栃木県森林・林業統計書



鹿沼市の森林と林業

- スギ…目が詰まり、**強度が安定**している。
- ヒノキ…同様に強度があり、**美しい木目**が特徴。

- 「**木工のまち鹿沼**」として、林業・木材産業が盛ん。
- 日光東照宮造営の際に、各地から腕利きの宮大工や職人が集結。木材集散地となる平坦な地を持つ鹿沼に、逗留・永住した彼らとその技術を伝承したのが起こりとされている。

鹿沼市の農林業を支える行政



鹿沼産木材 7つの大活躍

鹿沼産木材 大活躍①

鹿沼市
新庁舎整備

2023年7月1日
関東初！
市庁舎SGECプロジェクト
CoC認証取得

独立した
木造議会棟

鹿沼組子

WooD INFILL

7

鹿沼産木材 大活躍②

東京オリンピック施設へ木材を提供



選手村
ビレッジプラザ



新国立競技場



8

鹿沼産木材 7つの大活躍

鹿沼産木材 大活躍③

レガシー材の活用



WOODコレクション

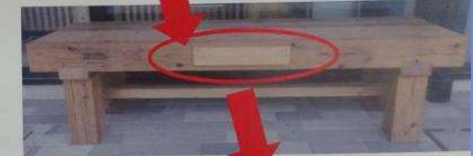


鹿沼産木材 大活躍④

鹿沼市
総合案内
入口



庁舎入口
ベンチ



鹿沼産木材 7つの大活躍

鹿沼産木材 大活躍⑤

TKCいちごアリーナ



まちの駅新・鹿沼宿



菊沢コミュニティセンター

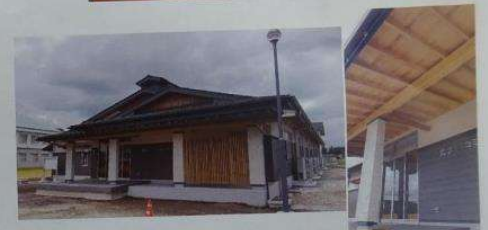


鹿沼産木材 大活躍⑥

川上澄夫美術館



北犬飼コミュニティセンター



北小学校



新鹿沼駅



鹿沼産木材 7つの大活躍



公共施設の木造・木質化



木材仕様の議事堂



- ・ 木材の特質を余すところなく活かした木造
- ・ 議会をテレビで放映
- ・ 一般質問は特別席で当局と対面する
- ・ 傍聴席は30席くらいはある。
- ・ 車いす対応せきも用意している。



木材仕様の議事堂



木育推進と市民(子ども)にもたらした変化

木育とは

木とふれあう : 木材に触れ、五感を通して興味を持つ

木に学ぶ : 木の現状や役割を知る

木と生きる : 森林の持続的管理や環境の改善に貢献する



木とふれあう・木に学ぶ

木とふれあう



イベント出展

市内イベントに木工教室や丸太切り体験を出展

もくもくまつり：900人来場
板荷センター祭り：800人来場

木に学ぶ



友好都市との交流事業

鹿沼市の友好都市である墨田区や足立区と交流事業を実施。

墨田区：市内林業事業体の協力による森林・植物講義、植林、間伐体験

足立区：木工教室（杉板焼き 等）植樹体験

森業高校

市内だけではなく、友好都市にも木の大切さ、良さをPR!



木と生きる

木と生きる

ポスターコンクール

緑化及び森林標語・ポスターコンクール
自然保護・森林愛護精神の醸成を図り、緑化の必要性・森林の公益性の啓発普及を目的に、市内小中学校の学生を対象に実施。

標語コンクール

～小学生部門 入賞作品～
木づかいで ゆたかな森林 はぐくもう
木とわたし いっしょにそだつよ 鹿沼のまちで
まもろうよ いろんないきもの くらすもり

～中学生部門 入賞作品～
豊かな森 小さな芽から 大きくそだて
生き生きと 木々が広がる 明るき鹿沼
森林は 酸素を作る すぐれもの

林業に対する興味が向上
⇒2021年度聞き書き甲子園
特別賞を受賞した学生が3名も！

木のぬくもりも
次の世代につなごう！

19

木と生きる

鹿沼市森林認証協議会

 SGEC

・平成28年6月、本市及び市内の森林所有者や林業・木材産業関係事業者で構成されたグループによって森林認証（FM認証及びCoC認証）を取得。

森林認証の規格

・森林認証とは…持続可能な森林管理がされていることを認証するシステム

FM認証
8,198.21ha

CoC認証
11事業所

木と生きる

木と生きる

SGEC (エスジェック) 森林認証

- ・ 環境や生物多様性を守るための森林
- ・ 「植えて、育てて、伐って、使う」という循環サイクルの約束を守った森林
- ・ 長く営み続けることができる森林の使い方



認証森林として認められる！ (FM認証)



「認証森林の木材を加工しながら消費者へ届けることも認められる！ (CoC認証)」

木と生きる



木育により、木に興味を持ち、持続可能な社会を実現する人財に！

公共施設の木造・木質化



栗野小学校



- ・小学校は児童78名。
- ・木造建築で平成23年に建てられ、材料は栗野財産区の木で賄い、建築設計はすべて地元で行っている。
- ・2階建のオープン教室は木造。
- ・図書館までの階段は、通常の3, 4倍あり低学年と高学年用に高さが違う天井は吹き抜け、採光はまぶしく開放感にあふれている。
- ・自由に座り込んで読書したり、多目的集会に使われている。
- ・「木に学び・木と生きる」を教育実践している。
- ・森林標語やポスター・彫刻等のコンクールで全国優秀賞や特別賞を小学生から高校生まで受賞している。

所 感

- ・ 農林業に力を入れていることは江戸時代からである。
- ・ 長い歴史の中で「木育」を市の宝物として赤ちゃん誕生から始まり、様々な事業を展開して市の産業として発展させている。
- ・ 木材関連事業署所は105あり製材所は9件もある。
- ・ 八峰町も山林が80%あるが木を活かした事業がない。視察を通して、何か取り入れるものがないか山を眺めている。